

海は見ていた (2002)

THE SEA WATCHES

メディア 映画

ジャンル 時代劇 ロマン스 ドラマ

製作国 日本

時間 119分

初公開日 2002/07/27

公開情報 S P E = 日活

【キャッチコピー】

遊女の恋は、惚れちゃいけない。

【解説】

巨匠・黒澤明監督が自ら第31作目の監督作品として書き上げながら結局実現することのなかった遺稿脚本を「サンダカン八番娼館 望郷」「日本の黒い夏 冤罪」の熊井啓監督が映画化した悲恋物語。江戸の深川を舞台に、勘当された若侍と遊女の叶わぬ恋を軸に、江戸の空気と匂い、そして江戸っ子の“粋（イキ）”に拘って描く。

時は江戸、場所は深川。そこは江戸市中からは少し離れているものの、粋な江戸っ子たちの本場でもあった。“葦の屋”はそんな深川の少しはずれにある岡場所。そこで働くまだ年若いお新は、おかみさんや菊乃姐さんから“遊女は恋をしても、客に惚れちゃいけないよ”と事あるごとに教えられていた。そんなある日、刃傷沙汰を起こして追っ手から逃げてきた若侍、房之介をお新は匿ってあげた。後日、事件が原因で勘当された房之介は再びお新のもとを訪ね、お新を身請けしたいと公言、以来足繁く通う。そんな房之介の誠実な姿に、お新の心は揺り動かされていく……。

【クレジット】

監督 熊井啓

企画 黒澤久雄

製作総指揮 中村雅哉

プロデューサー 猿川直人

制作 豊忠雄

遠藤雅也

原作 山本周五郎

(『なんの花か薫る』『つゆのひぬま』新潮社刊)

脚本 黒澤明 Akira Kurosawa

撮影 奥原一男

美術 木村威夫

衣装デザイン 黒澤和子 Kzuko Kurosawa

編集 井上治

音楽 松村禎三

照明 矢部一男

監督補 鈴木康敬

出演 清水美砂 菊乃

遠野凪子 お新

永瀬正敏 Masatoshi Nagase 良介

吉岡秀隆 房之助

つみきみほ
河合美智子
北村有起哉
野川由美子
石橋蓮司
奥田瑛二